

常翔啓光クライミングウォール



『常翔啓光クライミングウォール』について

リード壁

- ◆高さ15.0m、幅8.0m、登攀距離17.0m
- ◆下部より、100°(4.0m) 115°(4.0m) 132°(6.0m) 105°(3.0m) 4種類の角度のFRP製ウォール
- ◆グレード(10a~13a)
- ◆4人同時に登攀が可能
- ◆ワールドカップ(フランスシャモニー大会)をイメージしてウォールの角度を設定

スピード壁

- ◆高さ15.7m、幅6.0m、登攀距離15.0m
- ◆2コースあり、大会開催が可能
- ◆国際規格のFRP製ウォールとホールド(IFSC認定品)
- ◆タイム測定器(IFSC認定品) CLIMBTIME2
- ◆オートブレー装置2機(IFSC認定品) PERFECT DESCENT CLIMBING SYSTEMS
- ※IFSC(国際スポーツクライミング連盟)

ボルダリング壁

- ◆高さ4.8m、幅7.5m。2種類の角度のFRP製ウォール
- リード壁・スピード壁の裏側に設置
- Aウォール(左側) 下部より、※長さは登攀距離 90°(0.3m) 120°(2.0m) 135°(2.0m) 102°(1.4m)
- Bウォール(右側) 下部より、※長さは登攀距離 90°(0.3m) 100°(1.5m) 150°(2.4m) 102°(1.9m)
- ◆グレード(6級~初段)
- ◆雨水対策用すのこ + 30cm安全マット(防水仕様)

サポート体制

(常翔啓光学園中学校・高等学校ワンダーフォーゲル部 指導者)

森 昌範

- ◎国語科教諭
- ◎ワンダーフォーゲル部部長
- ◎大阪府山岳連盟常任理事
- ◎大阪高等学校体育連盟 登山専門部常任委員

小林 由人

- ◎数学科特任教諭
- ◎ワンダーフォーゲル部顧問
- ◎日本山岳スポーツクライミング協会 公認C級審判員
- ◎指導員

北田 広明

- ◎理科科教諭
- ◎大ワンダーフォーゲル部顧問
- ◎阪高等学校体育連盟 登山専門部常任委員
- ◎日本山岳スポーツクライミング協会 公認C級審判員

ワンダーフォーゲル部実績



クライミング大会

- 2008年 大分国体・2011年山口国体大阪代表選手
- 2015年・2017年 全国高等学校選抜クライミング大会出場
- 2017年12月 埼玉県加須市で行われた、全国高等学校選抜クライミング大会に男女揃って出場



インターハイ(競技登山)

- 2013年以降、5年連続大阪府代表としてインターハイ(全国大会)出場
- 2017年8月山形(蔵王・月山山系)インターハイに、初の男女チーム大阪代表としてアベック出場

大会・強化合宿の誘致や開催について

2020年東京オリンピックに向けて、若手選手の発掘とスポーツクライミングのさらなる発展を目的としています。各種大会の開催や、日本有数のトップクライマーの強化合宿などを開催しています。

- 《実績》
- ・全日本ユース合宿 ※(2017年6月17日~18日)《表紙左上》
- ・全日本ユース練習会※(2017年8月5日・8月18日)
- ・近畿高等学校スポーツクライミング大会大阪予選会(2017年9月24日)《表紙右上》
- ・全日本大学選手権大会(2017年11月4日~5日)
- ・近畿地区高体連高校生練習会(滋賀県:2017年10月14日、兵庫県:10月21日、大阪府:10月28日)
- ・近畿高等学校スポーツクライミング大会近畿大会(2017年11月12日)
- 《表紙右下》
- ・大阪高校ボルダリングツアー戦【第2戦】(2017年12月17日)《表紙左下》
- ・スピード記録会 ※(2018年2月18日、3月11日、4月21日、5月4日)
- ・HIRAKATAカップ(2018年4月29日)
- ※印:日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)主催

地域への貢献・普及活動について

- 《実績》
- ・「常翔啓光クライミングウォール」オープニング式典にて、伏見枚方市長にクライミング体験を行っていただきました。(2017年5月19日)
- ・小学生への体験クライミングを実施しました。(2017年6月30日:明倫小、12月1日:中宮小) 表紙左中
- ・開学60周年記念式典(10月29日)
- ・枚方市の小中学生を対象に「親子体験クライミング」の実施しました。80組の親子が参加していただきました(2017年7月23日、2018年4月22日)
- ・新聞社、テレビ局の取材等 41件(2018年5月現在)



学校法人常翔学園 Josho Gakuen

大阪工業大学 Osaka Institute of Technology

Smart and Human 摂南大学 Setsunan University

常翔学園 Hiroshima International University

広島国際大学 Hiroshima International University

建学の精神 世のため、人のため、地域のため、理職に専攻する実践的技術者、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

経営理念 ~四位一体~ 「学生・生徒」「保護者」「卒業生」「教職員」を一つの「家族」(絆~きずな~)とらえた経営を行うことで全員が一丸となって多くの優秀な人材を世の中に送り出し、社会と学園の永続的な成長と発展を目指す。



常翔学園 中学校 高等学校 Josho Gakuen Junior and Senior High School

常翔啓光学園 中学校 高等学校 Josho Keiko Gakuen Junior and Senior High School

学園創立100周年へ向けた常翔学園の長期ビジョン ~ J-Vision22 ~

次代の要請に的確に応え、社会から選ばれる教育機関であり続けるために、「透明性の高い経営」を確し、魅力ある教育を実現する。

将来像(常翔啓光学園中学校・高等学校) 伝統に基づいた豊かな人間力を育む教育と、主体性と創造力を養成する充実した進学指導により、実社会において世界の動向を的確に捉えて活躍する人材を育成する進学校となる。